

## 令和元年度第4回探鉱技術委員会(運営委員会)報告

探鉱技術委員会委員長 八木 正彦

### 開催日時・場所

令和2年1月23日(木) 14:30~16:30 国際石油開発帝石(株)

参加者：八木委員長・三石副委員長・戸田・河合・小林・高橋・井川・岡本・佐藤・安河内・石川・石本・金子 各委員、以上13名

### 議事内容

1. 定例連絡
2. 委員会体制(交代なし)
3. 分科会活動状況
  - 砂岩分科会：
    - 第2回 1月17日 日本堆積学会との共催開催(参加者50名)
    - 大野研也(INPEX)
    - “DEEPWATER SLOPE CHANNELS ON ACTIVE CONTINENTAL MARGINS, EOCENE FOREARC BASIN, CALIFORNIA: ARCHITECTURE AND FROUDE SUPERCRITICAL CHANNEL FILLS”
  - 炭酸塩岩分科会：第2回企画中
  - 物探分科会：
    - 第2回：2月28日(金)開催予定@INPEX
    - 小林・植松(INPEX)、加藤・市川(JOGMEC)
    - 話題提供テーマ「DAS技術」
  - 新技術分科会：
    - 第2回：1月29日(水)開催予定@JAPEX
    - 佐藤雅紀(JAPEX)
    - 「夕張CBM調査井について」
4. 令和元年度春季シンポジウム特集号準備の進捗報告
  - 探鉱技術委員会が査読を行った9編全ての査読完了・会誌編集委員会にて受理
  - 印刷会社から校正刷り受領(チェック中)
  - 85巻1号(2020年1月発行予定)に原稿掲載
5. 令和2年度秋田大会地質・探鉱部門シンポジウムテーマおよび講演者選定
  - テーマを以下のように決定
    - 和文テーマ「女川層から学ぶこと、そこから考えるタイトレザバー探鉱の将来」
    - 英文テーマ「The Onnagawa Formation – Implication for Tight Reservoir Exploration」
  - 合計9件の講演者と題目・講演要旨がほぼ出揃い、講演順番を決定
  - シンポジウムをまとまりのあるより充実したものにすることを目的として、プレシンポジウムを第6回探鉱技術委員会の後に開催予定

6. 令和2年度春季講演会個人講演進捗報告
  - 6月3日開催、申し込み受付開始（令和元年11月15日～令和2年2月7日）、講演要旨原稿バ  
切（令和2年4月17日）
7. 令和元年度特別見学会（物理探査編）
  - 令和元年12月の理事会にて承認、協会ホームページに掲載済み
  - 合わせて関係大学教官宛に案内中
  - 開催日時：令和2年3月4日(水)
  - 場所：(株)地球科学総合研究所嵐山研究センター
  - 対象：学生・院生（文系・理系は問わず）、申し込み期限：2/25、参加費：学生2,000円
8. その他
  - G&G 若手技術者交流会：作井の若手技術者交流会に関するヒアリング結果を共有・意見交換
  - 事務局に一旦持ち帰り。若手交流会を発足しても「継続」させるのは難しいとの共通理解。
  - 新たに若手交流会を発足するのではなく、既存の分科会活動を見直し、より活性化することによ  
って対応を考える。
  - 具体的には、定期的に若手向けに広くアンケートを実施し、技術向上のために聞きたいトピック  
・分野・講演を収集する（各人が有する専門技術・知見も記入）。それらを各分科会で振  
り分けて活動に反映させる。分科会座長の一人は若手に替え、ベテランは人脈をサポートす  
る。ひとつのテーマで聞きたい分野が多岐にわたる場合は、適宜座長同士が協力して、シンポ  
ジウム形式で講演会開催を図る。
9. 次回 令和2年度第6回探鉱技術委員会（運営員会）
  - 日程：3月26日、会場：JAPEX
10. 話題提供
  - タイトル：当社の地質巡検への取り組み - 米国 Book Cliffs をアナログとした地下地質評価の  
試み
  - 講演者：甲田篤郎 氏（INPEX）
  - 参加人数：35人

以上